

## 『最近のパソコン事情 2013』

宮杉 浩

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの大学生活において、日頃の勉強、レポートの作成などで図書館をおおいに活用してください。さて、本シリーズの第12回、13回におきまして「最近のパソコン事情」についてお話をいたしました。今からもう4年前の事になります。今回は「最近のパソコン事情2013」と題して前回より大きく変化したパソコン事情についてお話をいたします。

一番の大きな変化は前回お話ししましたiPadやスマートフォン、タブレットPCなどの「タッチパネル」導入機器が爆発的に普及したことです。これは社会的にWi-Fiや3G、LTEなどの無線LAN環境が飛躍的に整備されてきたことによるものが大きいと思われる。皆さんの中にも従来の携帯電話からスマートフォンに乗り換えた方、または最初からスマートフォンを持たれた方も多いことだと思います。さらにビジネスマンの方が営業や出張中に活用する機器もノートパソコンからiPadやタブレットPCに急速に切り替わっているように見受けられます。

デスクトップパソコンは公共施設ではいまだ幅広く活用されていますが、家庭用としては減退が進んでいるようです。ノートパソコンの低価格化、高機能化が加速したこともあり、スペースを取らないノートパソコンが家庭用パソコンとしての地位をより強固なものとし、デスクトップパソコンは今後公共施設での活用、もしくは拡張性の高さを生かして、コアユーザーのニーズに応じていくパソコンとしての立ち位置にその存在価値を見いだしていくことになりそうです。

ノートパソコンは家庭用パソコンとしての地位を、テレビなどの家電としての機能が強化されたことや低価格化・高機能化が実現されたことにより確固たるものにしていきます。しかし前述のタブレットPCが今後さらなる発展を遂げれば、その地位も不透明なものになってくるかもしれません。タブレットPCとの差別化が今後のノートパソコンの動向を左右することになると考えられます。

ここまで駆け足で前回からの変化をお話してきました。パソコンに代表される情報端末機器はかねてから技術の発展と進化が著しいものでした。そしてここ数年は特にその進化が目覚ましかったと思われる。ただ大事なことは、それら情報端末機器は我々が情報を入手し、処理するためのツールであるということです。新たな機能などに惑わされたり、振り回されることでツールとして十分に活かさないのであれば、どんな高機能な機器も意味をなさないものとなってしまいます。今や様々な事ができるようになり、より多くの情報が入手できるパソコンやスマートフォンらを使って自分が何をしたいのか、その多彩な機能を自分にどう活かせるのかを考慮しながら、活用していくことが大切なのです。皆さんも自身のスタイルに合わせた活用方法を是非見つけていただければと思います。

みやすぎ ひろし（係長補佐・管理運営課）